

山海平野！

2020年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 会報
20年11月1日(日) ToMo 区分 発行

第3号

北海道の新型コロナウイルス罹患者が急増している中、冬場にかけてはインフルエンザ等の感染症も流行期に入ります。私たち道南福祉ねっと職員一同も十分な感染対策の方を取りながら、利用者に罹患者を絶対に出ないという強い決意で、日々努力しています。

さて今回は「グループホームすみれ」の紹介をします。グループホームは、利用者の自宅としての安らぎの場であり、同時に自分で生活していける力を養えるよう学びの場でもあります。その中で職員が必要なサポートを行っています。「グループホームすみれ」には現在合計で10棟のグループホームがあり、七飯町本町を中心に様々なエリアに点在しています。利用定員は全棟合計57名です。そのうち半数以上のグループホームは一般住宅を活用して3～4名定員で運営しています。

次に、グループホームでの活動を紹介します。地域生活が楽しく充実できるよう、年間を通して様々な行事等があります。

年2回実施している防災訓練では、災害時迅速に行動できるように利用者職員共に学んでいます。その様子が下の画像です。



11月行事予定

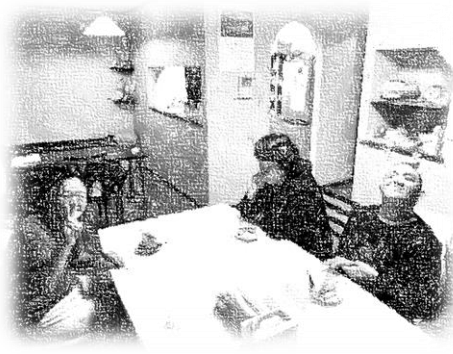
- 11月4日(水) 明日へ・なのか防災訓練
- 11月5日(木) 工賃支給日
- 11月11日(水) かけ橋・そら防災訓練
- 11月12日(木) ALL・つばさ防災訓練
- 11月17日(火) えーる防災訓練
- 11月18日(水) すみれ防災訓練/
ホームミーティング
- 11月25日(水) れんげ防災訓練/
ホームミーティング

他にも、グループホーム外出レクリエーションや新年会等行っています。利用者の誕生日の時には、誕生日会を開き、みんなでケーキを食べながらお祝いする行事もあります。

今年は新型コロナウイルスという未曾有の感染症の影響により、外出を伴う行事については自粛という状況の中、利用者も今までとは違うストレスを抱えて生活しています。その苦しい状況を少しでも軽減できるように一人一人の利用者に寄り添って、苦しいだけじゃない明るく楽しい未来を利用者とともに語り合っ引き続きサポートしていきたいと思っております。

また、ご家族の皆様よりマスクやアルコール消毒液等を寄贈いただきました。ここに改めて衷心より御礼申し上げます。このような辛い時でさえ、「みんなのために」という思いに触れ、感動とともにとても励まされる思いでした。

次号では就労事業の作業について紹介したいと思います。(文責 武田 大河)



山海平野！

2020 年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 会報
20 年 11 月 1 日（日） PORT 区分 発行

第 3 号

「りんご狩り」

10 月 7 日に、PORT ハウス・又蔵さんちの利用者の皆さんとりんご狩りに行ってきました！ りんご農家の方にりんごの取り方を教えてもらおうと”クルックルッ”と芯が抜けないように上手にりんごをとることが出来ました。お家に持ち帰り美味しく頂きました。



「新たな挑戦！」

「今日からこれをやるんだ」と新しい仕事を始める時の利用者の皆さんのキラキラした目。南瓜カット作業のスタートです。スーパーのお惣菜コーナーに売っているかぼちゃの煮物の材料としてかぼちゃを正方形のかたちに重さ 40 グラムにカットするお仕事です。かぼちゃが収穫できる 3 ヶ月間限定のお仕事ですが、利用者の皆さんの工賃向上を目標に頑張っていきたいです。



11 月 行 事 予 定

- 11 月 5 日（木）防災訓練／GH あざみ
- 11 月 11 日（水）防災訓練／PORT ハウス
- 11 月 12 日（木）防災訓練／GH いちご
- 11 月 19 日（木）防災訓練／GH けやき
- 11 月 26 日（木）防災訓練／GH あさがお

「大切な いのちを守るために」

10 月 21 日に、オープンスペース又蔵さんちにおいて、普通救命講習を実施しました。今回の講習会では北斗消防署の救急救命士さんにお越し頂き救命措置や誤嚥・窒息、痙攣発作、出血等の対応について学ばせていただきました。

2 つのグループに分かれ、心肺蘇生法や AED を使用した救命処置を訓練し、参加者は本番さながらの講習に熱心に取り組まれていました。新型コロナウイルス感染症予防のため被救助者の口元にハンカチ等を当てる、呼吸の確認のために口元に耳に近付けないなど最新の救急蘇生法について、十分な知識と技術を習得することができました。



就労支援センター PORT ハウスでの活動をご紹介させていただきました。今後も「人としての当たり前の権利」について深く考え支援員としてお互いに学び合い障害のある方が安心して暮らせる地域を目指していきたいと思います。

文責 石岡

山海平野！

2020年度 社会福祉法人道南福祉ねっと 会報
20年11月1日(日) WORK 区分 発行

第3号

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしですか。11月は、秋から冬への移行の時期です。「立冬」を迎え、日毎に寒さも身にしみる季節。木枯らしが吹き、落ち葉が舞い散る様子に、もの寂しさを感じる季節でもあります。が、いまWORKはホットです。

先の会報でコロナ禍により、外販や就労支援センター活動が出来なく手持無沙汰と記述しましたが、9月中旬WORKのもっとも得意とするシール貼り作業が受注されました。発砲スチロールに食品内容表示シールを正確に、きれいに、皆さん頑張ってます。既に7万枚完了し、これからも継続的な受注が見込まれています。また、地域活動支援センターひめかわでは、ドイツトウヒの大きな「松ぼっくり」をドライ木の実としてクリスマスの飾付にと探しています。ドイツトウヒは、北海道と東北地方に分布する針葉樹。細長い松ぼっくりはめずらしくリースやオブジェへの需要があるとのことで、毎年この時期の有意義な活動になればと期待しています。皆さんの周りにもこんな松ぼっくりがありましたらご連絡ください。

シール貼り作業



11月行事予定

- 11月2日(月) ひめかわ・CREATEハウス
新川町へ移転
- 11月5日(木) 工賃支給日
- 11月下旬 防災訓練・消防設備点検実施予定

新型コロナウイルス感染症は、いまだ衰えることなく多くの人々を不安の渦に巻き込んでいます。この状況は長期化が予想され、収束には一人ひとりがこの状況にしっかりと向き合い、消毒、マスク、手洗い、三密回避、行動自粛など感染防止対策を着実に実践することが一番の特効薬と考えます。今は我慢！収束に向け頑張りましょう。

さてこの度、旧ひめかわ小学校で運営していた地域活動支援センターひめかわと就労支援センターCREATEハウスの11月1日から新川町に移転いたします。

・地域活動支援センター「ひめかわ」

～森町字新川町 211 番地 1

・就労支援センター「CREATEハウス」

～森町字新川町 200 番地 6

場所は変わりますが、今までと行うことに変わりはありません。今後も事故の無い安全で安心できるサポート体制を構築してまいりますのでよろしくお願いします。

地域活動支援センターひめかわの名称については、来年4月1日から名称を変更しようと考えています。

統括管理長 浅利 洋兵

CREATEハウス

地活ひめかわ



2020年10月22日

「緊張した一日」

就労支援センターToMo ハウス 四村真

この日は、七飯中学校から4名の生徒が体験学習を ToMo ハウスでやりました。「仕事体験」ということもあり、店舗清掃や、コーヒー豆のハンドピック作業、ケーキ製造と盛りだくさんのメニューでしたので、私は、ハンドピック作業と一緒にやっていました。私は、ただ、意思伝達器械ペチャラで、やり方などおしえていましたが、「せっかくきたのに、私の思いを伝えなくていいのか」「いや、今日は、職場体験学習であっていいや」「でもせっかくきたし」と心で思っていました。

まもなくし、私の運動に関するものをもってきてくれて、「よし、はなそう」とおもい、結果的に、午前中は教育への思いを簡単に伝え、午後からは、施設の経験を伝えました。私はペチャラで伝え、必ず10の思いも3しかつたえきれず、補足を職員でしてくれましたが、事前打ち合わせもちろんありませんでしたが、とてもうまくまとめてくれました。中でも、午前中、学校のはなしになり、「障がいがある方は、分けた中で自分にあった学びや身の回りのことを支援学校で生活する方がいい」という意見は、かなり社会の事を見ているなーと思い、そこで私がある程度まとめ

て伝えてしまいました
たが、本来はお互いキャッチボールをしていくと、もっと「なぜ共生なの」ということも知れ、そこは少し残念でした。

今回は、4名が来て、利用者と一緒にケーキづくりや、作業をやり「仕事体験」として

とてもいいことかなーと思い、ToMo ハウス一日和やかな一日でした。

